

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で4,300cells/ml、シャットネラ属が最高で1cell/ml確認されました。

カレニア・ミキモイは中学前で漁業被害が想定される密度を超えていました。

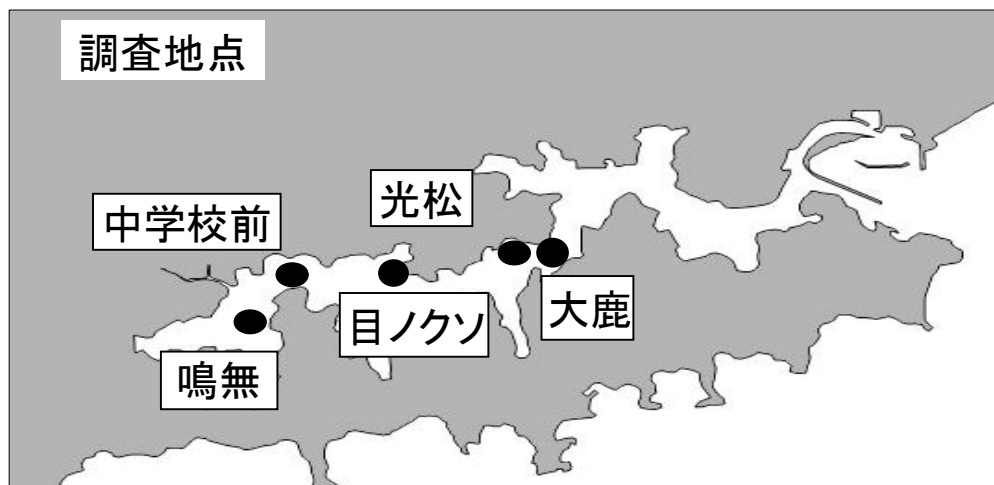
今後も増殖・拡大が想定されますので、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
鳴無	4.5m	380	0
	8.5m	530	0
中学校前	0m	250	0
	5m	610	0
	7m	4,300	0
目ノクソ	2m	71	0
	5m	200	0
	6.5m	310	1
光松	2m	31	0
	5m	110	0
大鹿	2m	18	0
	5m	54	0

漁業被害が想定される細胞密度
 ・カレニア・ミキモイ：
 数百～数千cells/ml(魚類のへい死)
 ・シャットネラ属：
 10～100cells/ml(魚類等のへい死)



「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>